

## 【公立施設設置大街別みらい構想について】

大街	施設設置状況	公立園名	R4 特定大街	2023 施設の地元率 (%)	2023 地元率 ランキング	待機児童 ランク上位	保全スケジュール (2059年まで)	特徴・問題点等
南街	公保1, 民保1	さえんぼ		14.2	25		2009年建築(RC) 2059年 改修	・2023地元率が最下位 (地元の人口減少に依らない立地)
下知	公保1, 民保1, 民小1, 事2, 保認2	ちより		62.4	15		1982年建築(木)・2001年保育室増築(木) 2041年 一部改修 2042・2043年 一部建替	・浸水エリア内であり、避難に対する不安がある。 ・特別支援拠点園
小高坂	公保2, 民保1, 公幼1	小高坂 宮前		42.5	17		(小高坂)1992年建築(木) 2032年 改修, 2052・2053年 建替 (宮前)2017年建築(木) 2057年 改修	・(宮前)一時保育 ・(宮前)病後児保育(ばんがきん)
旭街	公保2, 民保5, 幼認3	旭 石立		70.9	9	2	(旭)2015年建築(RC) (石立)1978年建築(RC) 2028年 改修, 2058年・2059年 建替	・(旭)高知市で最初の公立保育園。待機児童が多く、園舎も新しい。 ・(石立)特別支援拠点園
潮江	公保1, 民保9, 保認1, 幼認1	河ノ瀬	○	63.5	14		1979年建築(RC)・1984年遊戯室増築(S) 2029年 改修, 2059年 建替	・2022特定大街 ・設置施設が最も多く、多くは民営施設。
一宮	公保1, 民保6, 公小1, 民小2, 幼認1	一宮 久重		74.8	7	1	(一宮)1990年建築(木)・1991年保育室及び遊戯室 増築(S) 2030・2041年一部改修 2050・2051年 一部建替 (久重)1980年建築・1985年保育室増築(木)	・(久重)唯一の久重小学校区。旧へき地保育所。
秦	公保1, 民保3	秦中央		78.4	6		2021年建築(RC)	・特別支援拠点園 ・20年後の保育需要が最も高い見込み(へき地除く)。
朝倉	公保2, 民保5, 幼認1	若葉 朝倉		81.5	4	3	(若葉)2002年建築(RC)・1986年遊戯室建築(S) 2052年 改修 (朝倉)1977年建築(RC)・1984年遊戯室増築(S) 2027年 改修, 2057・2058年 建替	・(若葉)子育て支援センター(あそぼっと)
鴨田	公保1, 民保4, 民小1, 幼認1	神田みどり		73.5	8		1979年建築(RC)・1984年遊戯室増築(S) 2029年 改修, 2059年 建替	
長浜	公保1, 民保5, 幼認1, 地認1	長浜		90.5	1		2014年建築(RC)	・2023地元率が最高位。 ・海から近いが、屋上避難等整備されている。
大津	公保1, 民保1, 幼保認1	大津		70.0	10		2018年建築(RC)	・子育て支援センター(おおつ・にじいろひろば)
介良	公保3	中野 愛善 介良西部	○	85.6	2		(中野)1998年建築(RC) 2048年 改修 (愛善)1980年建築(木)・2001年保育室増築(木) 2040・2041年 一部建替, 2041年一部改修 (介良西)1978年建築(RC) 2028年改修, 2058・2059年 建替	・小学校区: 潮見台小(中野) 介良小(愛善・介良) ・大街内に公立園のみ ・各園舎、平屋、老朽化 ・(中野)唯一の潮見台小学校区。潮見台の子どもの数減少 ・(介良西)児童数減少。愛善に入れない子どもが入所する傾向もあり。
鏡	公小1, 公幼1	かがみ保 かがみ幼	○	66.7	12		(かがみ保)1995年建築(木) (かがみ幼)1988年建築(木) 2028年 改修, 2048・2049年 建替	・人口減少が大きく、2045年保育需要率最下位 ・旧へき地保育所。
土佐山	公小1	とさやま		81.5	5		2004年建築(木) 2044年 改修	・1小学校区1保育所。旧へき地保育所。 ・3年以上定員超過
春野	公保6, 民保1, 事1, 幼保認1, 幼認1	春野弘岡上 春野弘岡中 春野仁西 春野西 春野中央 春野平和	○	67.9	11		(弘岡上)1982年建築(RC) 2032年 改修 (弘岡中)2013年建築(RC) (仁西)1987年建築(RC) 2037年 改修 (西)1994年建築(木) 2034年改修, 2054・2055年建替 (中央)1977年建築(RC) 2027年改修, 2057・2058年建替 (平和)1980年建築(RC) 2030年改修	・小学校区: 春野西(弘上, 弘中, 西, 仁西), 春野東(中央, 平和) ・2045年には、児童数が半減の見通し ・2年連続、保育供給過剰見込み(現在の定員に対して6割供給過剰) ・公立園が多く、各施設の老朽化が目立つ。 ・(仁西)利用児童数減少に伴い、令和6年度末で閉園予定。

公保:公立保育所, 民保:民営保育所,  
公幼:公立幼稚園  
幼保認:幼保連携型認定こども園  
保認:保育所型認定こども園  
幼認:幼稚園型認定こども園  
地認:地方裁量型認定こども園

公小:公立小規模保育施設  
民小:民営小規模保育施設  
事:事業所内保育施設

※建物を目標耐用年数(RC80年, その他は60年)まで維持管理するための保全シミュレーションによる建替・改修時期(令和2年5月策定 高知市個別施設保全計画より)

## 【春野地区 施設利用状況】

### ●特徴

- ・2045年人口推計では、春野地区で現在の利用定員の3割程の保育需要まで減少が見込まれる(R5.4.1時点 利用定員の63%充足)。
- ・地元保育施設を利用する割合は、春野施設利用者の68.4%。
- ・公立保育園が多く、各施設の老朽化が目立つ。
- ・入園児数が激減している施設がある。
- ・春野西小学校区はスクールバスが運行。利用料は無料。(学校環境整備課 R5年度は駅前観光へ委託。)

### ○保育種別毎の利用状況 (R5.4.1時点)

R050401施設利用状況	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
就学前児童数(市内)	1,949	2,073	2,030	2,193	2,276	2,456	12977	
就学前児童数(春野)	48	55	53	67	61	72	356	
<b>春野</b> 設置施設利用児童数	17	58	59	75	77	87	373	100.0%
内 保育所(7施設)	16	44	48	58	54	58	278	74.5%
認定こども園(2施設)	1	12	11	17	23	29	93	24.9%
幼稚園(0施設)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
地域型保育(1施設)	0	2	0	0	0	0	2	0.5%

100.0% ← 春野地区の子どもの保育施設利用状況 300人/356人=84.3%  
 2.7% ← 内 255人(71.6%)が地元保育施設を利用  
 ←春野外で居住している児童数も含む

### 過去3年間の平均入所児童の動向

令和3年度の平均入所児童数と比較すると、令和5年度(～8月)は、すべての施設で入所児童が減少している。

### ○各保育施設利用状況 (R5.4.1時点) 及び 過去3年間の入所児童動向

類型	施設名	施設構造	建築年	保全スケジュール(2059年まで)	小学校区	利用定員		R050401 入所児童				R03年度	R04年度	R05年度(4～8月)				
						1号	2・3号	1号 入所児童数	地元率	2・3号 入所児童数	地元率	入所率	平均 入所児童数	平均 入所児童数	前年度比	平均 入所児童数	前年度比	
保育所	春野弘岡上保育園	公	RC	1982	1982年建築(RC) 2032年 改修	春野西	0	40	-	-	23	73.91%	57.50%	27.0	19.9	-26.30%	23.0	15.58%
	春野弘岡中保育園	公	RC	2013	2013年建築(RC)	春野西	0	65	-	-	46	67.39%	70.77%	50.1	47.3	-5.59%	46.0	-2.75%
	春野西保育園	公	木	1994	1994年建築(木) 2034年改修, 2054・2055年建替	春野西	0	50	-	-	28	92.86%	56.00%	37.5	29.4	-21.60%	28.0	-4.76%
	春野仁西保育園	公	RC	1987	1987年建築(RC) 2037年 改修	春野西	0	30	-	-	5	80.00%	16.67%	10.6	10.2	-3.77%	5.0	-50.98%
	春野中央保育園	公	RC	1977	1977年建築(RC) 2027年改修, 2057・2058年建替	春野東	0	50	-	-	26	65.38%	52.00%	26.8	24.8	-7.46%	26.0	4.84%
	春野平和保育園	公	RC	1980	1980年建築(RC) 2030年改修	春野東	0	80	-	-	46	86.96%	57.50%	57.6	48.2	-16.32%	48.4	0.41%
	うららか保育園	民	-	-	-	春野東	0	130	-	-	104	56.73%	80.00%	119.8	126.0	5.18%	107.4	-14.76%
認定 こども園	春野学園	民	-	-	-	春野東	13	51	1	0.00%	37	51.35%	57.81%	40.4	47.9	18.56%	40.0	-16.49%
	へいわ幼稚園	民	-	-	-	春野東	25	50	23	21.74%	32	71.88%	73.33%	66.8	65.3	-2.25%	55.8	-14.55%
地域型 保育	うららかキッズガーデン	民	-	-	-	春野東	0	4	-	-	2	50.00%	50.00%	3.0	2.2	-26.67%	2.0	-9.09%

※建物を目標耐用年数(RC80年, その他は60年)まで維持管理するための保全シミュレーションによる建替・改修時期(令和2年5月策定 高知市個別施設保全計画より)

※地元率:入所児童のうち、施設設置大街と居住大街が一致する割合

#### ※認定区分について

- 「1号(教育認定)」・・・満3歳以上で、幼児期の教育を希望する家庭の児童
- 「2号(保育認定)」・・・満3歳以上で、保護者の就労や病気などを理由に保育を希望する家庭の児童
- 「3号(保育認定)」・・・満3歳未満で保護者の就労や病気など

### ○災害リスクについて

	津波浸水予想	洪水・土砂災害
春野弘岡上保育園	-	浸水想定0.5～3.0m 急傾斜地の崩落
春野弘岡中保育園	-	浸水想定0.5～3.0m
春野西保育園	-	浸水想定3.0～5.0m
春野仁西保育園	浸水深5～10m(到達時間20～30分)	浸水想定0.5～3.0m 家屋倒壊等氾濫想定区域
春野中央保育園	浸水深0.3～1.0m(到達時間60分以上)	浸水想定3.0～5.0m
春野平和保育園	-	-

【介良地区 施設利用状況(R05.4.1時点)】

●特徴

- ・2045年人口推計では、現在の利用定員の48%ほどまで保育需要の減少が見込まれる(R5.4.1時点 利用定員の74%充足)。
- ・大街内に公立保育所のみ設置
- ・各園舎、平屋、老朽化
- ・(中野)唯一の潮見台小学校区。潮見台の子どもの数減少
- ・(介良西)児童数減少。中野・愛善に入れない子どもが入所する傾向があり。
- ・地元率ランキング2位

○保育種別毎の利用状況 (R5.4.1時点)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
就学前児童数(市内)	1,949	2,073	2,030	2,193	2,276	2,456	12977	100.0%
就学前児童数(介良)	79	86	71	91	81	91	499	3.8%
介良 設置施設利用児童数	15	48	43	52	54	58	270	100.0%
内 保育所(3施設)	15	48	43	52	54	58	270	100.0%
認定こども園(O施設)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
幼稚園(O施設)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
地域型保育(O施設)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

←介良以外で居住している児童数も含む

過去3年間の平均入所児童の動向

令和3年度の平均入所児童数と比較すると、令和5年度(～8月)は、すべての施設で入所児童が減少している。

○保育種別毎の利用状況 (R5.4.1時点)

類型	施設名	施設構造	建築年	保全スケジュール(2059年まで)	小学校区	R050401利用定員		R050401 入所児童			R03年度		R04年度		R05年度(4～8月)	
						1号	2・3号	入所児童	地元率	入所率	平均入所児童数	平均入所児童数	前年度比	平均入所児童数	前年度比	
保育所	中野保育園	公	RC	1998	1998年建築(RC) 2048年 改修	潮見台	0	160	123	83.74%	76.88%	134.9	135.6	0.52%	122.7	-9.51%
	愛善保育園	公	木	1980・2001	1980年建築(木) 2001年保育室増築(木) 2040・2041年 一部建替、 2041年一部改修	介良	0	150	127	90.55%	84.67%	143.3	138.1	-3.63%	127.0	-8.04%
	介良西部保育園	公	RC	1978	2028年 改修 2058年・2059年 建替	介良	0	55	20	65.00%	36.36%	37.4	27.6	-26.20%	20.0	-27.54%

※建物を目標耐用年数(RC80年、その他は60年)まで維持管理するための保全シミュレーションによる建替・改修時期(令和2年5月策定 高知市個別施設保全計画より)

※地元率: 入所児童のうち、施設設置大街と居住大街が一致する割合

※認定区分について

- 「1号(教育認定)」・・・満3歳以上で、幼児期の教育を希望する家庭の児童
- 「2号(保育認定)」・・・満3歳以上で、保護者の就労や病気などを理由に保育を希望する家庭の児童
- 「3号(保育認定)」・・・満3歳未満で保護者の就労や病気など

○災害リスクについて

	津波浸水予想	洪水・土砂災害
中野保育園	-	浸水想定0.5～3.0m
愛善保育園	浸水深1.0～2.0m (到達時間60分以上)	浸水想定0.5m未満
介良西部保育園	浸水深2.0～3.0m (到達時間60分以上)	浸水想定0.5～3.0m

【鏡地区 施設利用状況(R05.4.1時点)】

●特徴

- ・市内唯一の市立幼稚園設置。
- ・人口減少が大きいと推計されており、2045年推計保育需要率最下位(R5.4.1時点 利用定員の17%充足)。
- ・保育所は、H31年度にへき地保育所(認可外)から小規模保育施設に移行。保育所の連携施設は、かがみ幼稚園。
- ・幼稚園は、「鏡学校給食センター」から給食搬入。保育所は、自園調理。  
(現在の給食センターでは、乳児の給食を賚えない。統合とする場合、①給食センターへ乳児食の体制を整える もしくは②幼稚園に調理室を新設する の検討をする必要がある。)
- ・保育所利用保護者が幼稚園の土曜保育について要望している。幼稚園のニーズ減少のひとつの要因。

○保育種別毎の利用状況 (R5.4.1時点)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
就学前児童数(市内)	1,949	2,073	2,030	2,193	2,276	2,456	12977	100.0%
就学前児童数(鏡)	7	0	3	6	4	5	25	0.2%
<b>鏡</b> 設置施設利用児童数	2	1	3	7	3	8	24	100.0%
内 小規模(1施設)	2	1	3	0	0	0	6	25.0%
幼稚園(1施設)	0	0	0	7	3	8	18	75.0%

←鏡 以外で居住している児童数も含む

過去3年間の平均入所児童の動向

令和3年度の平均入所児童数と比較すると、令和5年度(～8月)は、それぞれの施設で入所児童が減少している。

○各保育施設利用状況 (R5.4.1時点) 及び 過去3年間の入所児童動向

類型	施設名	施設構造	建築年	保全スケジュール(2059年まで)	小学校区	R050401 利用定員		R050401 入所児童				R03年度		R04年度		R05年度(4～8月)		
						1号	2・3号	1号 入所児童数	地元率	2・3号 入所児童数	地元率	入所率	平均 入所児童数	平均 入所児童数	前年度比	平均 入所児童数	前年度比	
小規模A	かがみ保育園	公	木	1995	1995年建築(木)	鏡	0	19	-	-	6	66.67%	31.58%	9.9	10.3	4.04%	7.0	-32.04%
幼稚園	かがみ幼稚園	公	木	1988	1988年建築(木) 2028年 改修, 2048・2049年 建替	鏡	90	0	18	66.67%	-	-	20.00%	19.0	13.8	-27.37%	18.0	30.43%

※建物を目標耐用年数(RC80年, その他は60年)まで維持管理するための保全シミュレーションによる建替・改修時期(令和2年5月策定 高知市個別施設保全計画より)

※地元率: 入所児童のうち、施設設置大衛と居住大衛が一致する割合

※認定区分について

- 「1号(教育認定)」・・・満3歳以上で、幼児期の教育を希望する家庭の児童
- 「2号(保育認定)」・・・満3歳以上で、保護者の就労や病気などを理由に保育を希望する家庭の児童
- 「3号(保育認定)」・・・満3歳未満で保護者の就労や病気などを理由に保育を希望する家庭の児童

○災害リスクについて

	津波浸水予想	洪水・土砂災害
かがみ保育園	-	-
かがみ幼稚園	-	地すべり防止区域